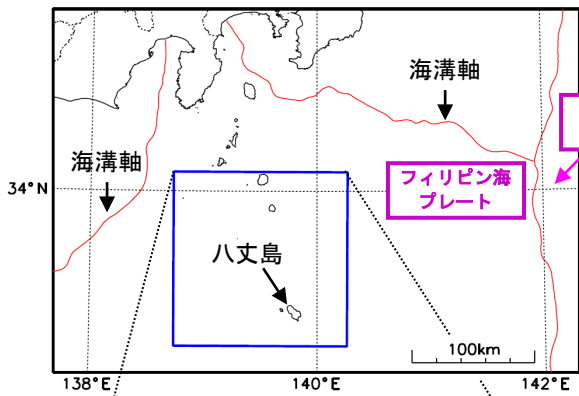
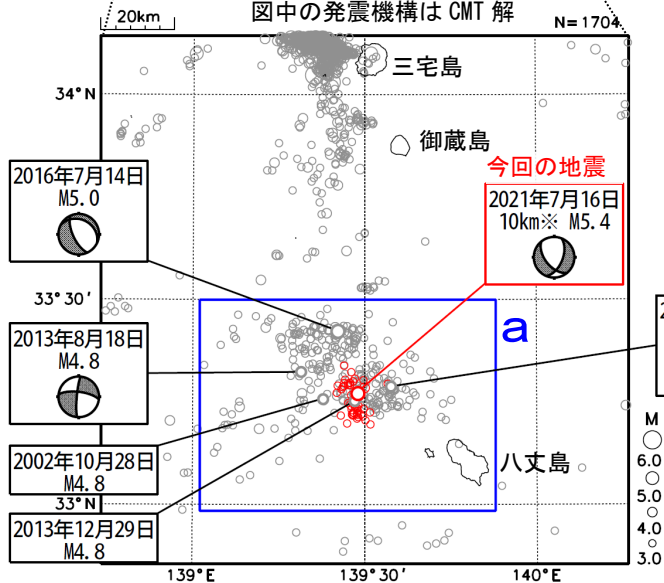


## 7月16日 八丈島近海の地震



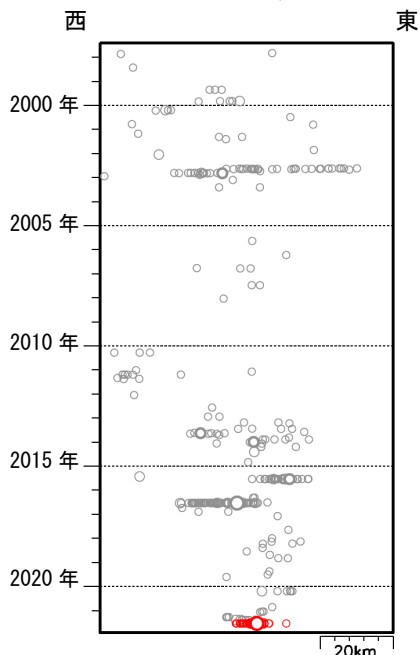
震央分布図  
(1997年10月1日～2021年7月31日、  
深さ0～60km、 $M \geq 3.0$ )  
2021年7月の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による

領域a内の時空間分布図（東西投影）

（シンボルが白抜きの場合は、上の震央分布図で吹き出しの付いた地震）

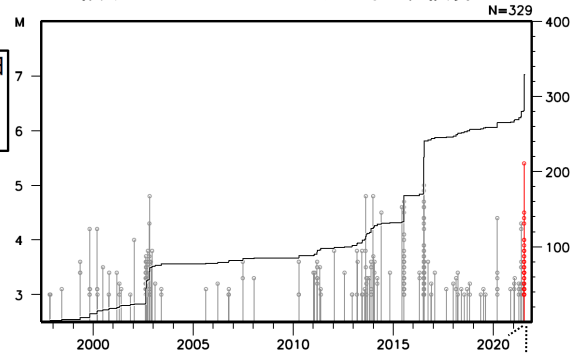


2021年7月16日13時19分に八丈島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構は東西方向に張力軸を持つ型であった。

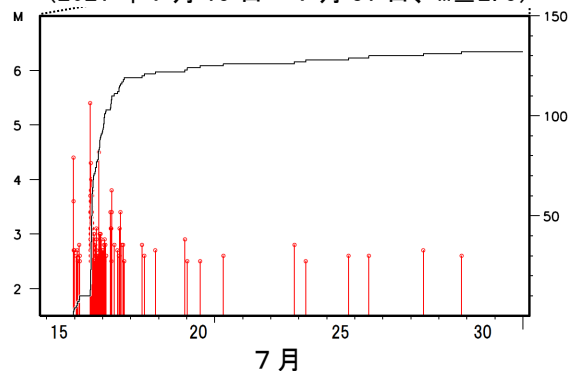
今回の震央付近（領域a）では、2021年7月15日から17日にかけて震度1以上を観測する地震が14回（震度4：1回、震度2：3回、震度1：10回）発生した。この地震活動は、7月18日以降、低調に推移している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では過去に何度かまとまった活動が発生している。2002年8月～11月の活動では、地震活動は初めに八丈島付近で始まり、その後西移動し、全体で震度1以上を観測する地震が36回発生した。その他にも、2015年7月の活動では全体で11回、2016年9月の活動では全体で6回の震度1以上を観測する地震が発生した。

領域a内のM-T図及び回数積算図



(2021年7月15日～7月31日、 $M \geq 2.5$ )



震度1以上を観測した地震の日別震度別回数  
(2021年7月15日～17日)

(八丈島近海)	震度1	震度2	震度3	震度4	合計
7月15日	2	0	0	0	2
7月16日	7	3	0	1	11
7月17日	1	0	0	0	1
合計	10	3	0	1	14